

## 本校における人権教育の取組について

人権教育担当 高田茂行

横浜市では、「いじめ未然防止」の取組の一つとして、年間を通じて「横浜子ども会議」を実施しています。「横浜子ども会議」とは、児童・生徒が主体的にいじめ根絶に向けて話し合い、より居心地のよい学校にしようとする近隣の中学校ブロックで会議をする取組です。本校では、毎年3校（洋光台第四小、洋光台第二小、洋光台第二中）の児童・生徒代表者が洋光台第二中学校に集まり、定期的にブロック会議を開いています。



今年度のブロックテーマは、「想（おもい） ～相手と心から向き合おう～」です。ブロック会議で話し合われたことをもとにし、このテーマの実現に向け、本校では次のような取組を行ってきました。



1つ目の取組はあいさつです。人権委員会の児童が、毎週月曜日と木曜日の朝、体育館前に立って、登校してくる友達の名を見て名前を呼び、エアータッチをしてあいさつをしています。相手の名前を呼んであいさつをすることで、お互い気持ちがよくなり、一日の学校生活の始まりにより影響を与えています。

2つ目の取組はなかよし週間です。12月7日（月）から18日（金）まで、「友達のいいところを見つけよう！」をテーマに、各クラスで友達のいいところを見つけたら、花や葉、蝶の形をしたカードに書く活動を行いました。そして、それを一本の木に貼り、仲良しの木をクラスみんなで作っていく取組を行いました。友達から自分のよいところを伝えてもらうことにより、自分のよさを自覚するとともに、友達のよさを知ることにもつながりました。



自分も他の人も大切にしようとする心を育てる活動をしてきたことにより、学級や学校での居心地が以前と比べてよくなってきているようです。人と関わる活動を通して、人権感覚を磨き、人権意識を高めてきましたが、これをより確かなものとして定着・浸透させていくためには、活動や働きかけの継続、個に応じた適切な支援の積み重ねが必要です。これからも、誰にとっても居心地のよい学校づくり、学級づくりを行ってまいります。保護者の皆様方の変わらぬご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。